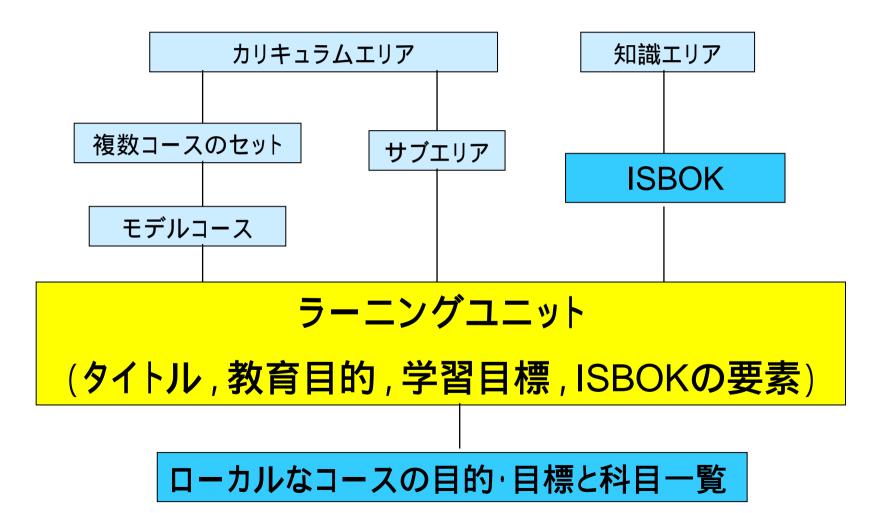
#### J07-ISカリキュラムの概要

歴史的変遷、IS人材像 エリアとコース カリキュラム策定の全体像 ISBOKとスキル ラーニングユニット 5つのモデルカリキュラム カリキュラム作成支援

IS教育委員会委員長 神沼靖子 2008.3.13

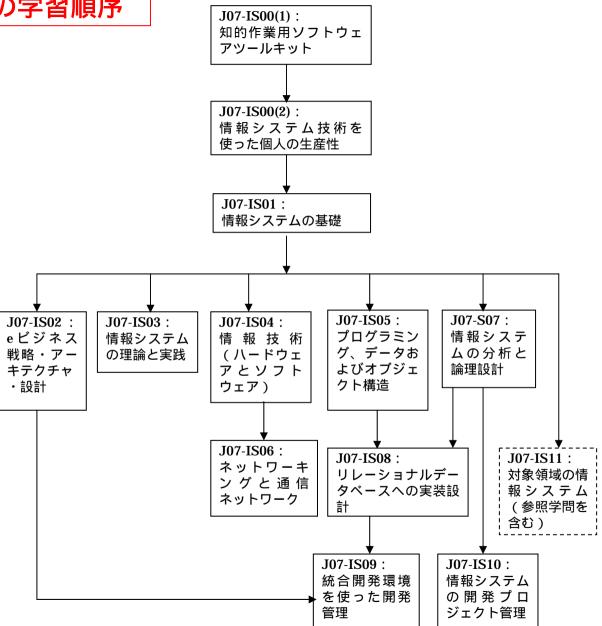
# ISカリキュラムの全体像



#### カリキュラムエリア

- A:CISの基礎
  - A1~A2のサブエリア
- B:情報システムの理論と実際
  - B1~B4のサブエリア
- C∶情報技術
  - C1 ~ C6のサブエリア
- D:システム開発
  - D1~D5のサブエリア
- E:情報システムの配置と管理
  - E1~E4のサブエリア

#### モデルコースの学習順序



### ISBOKの概要

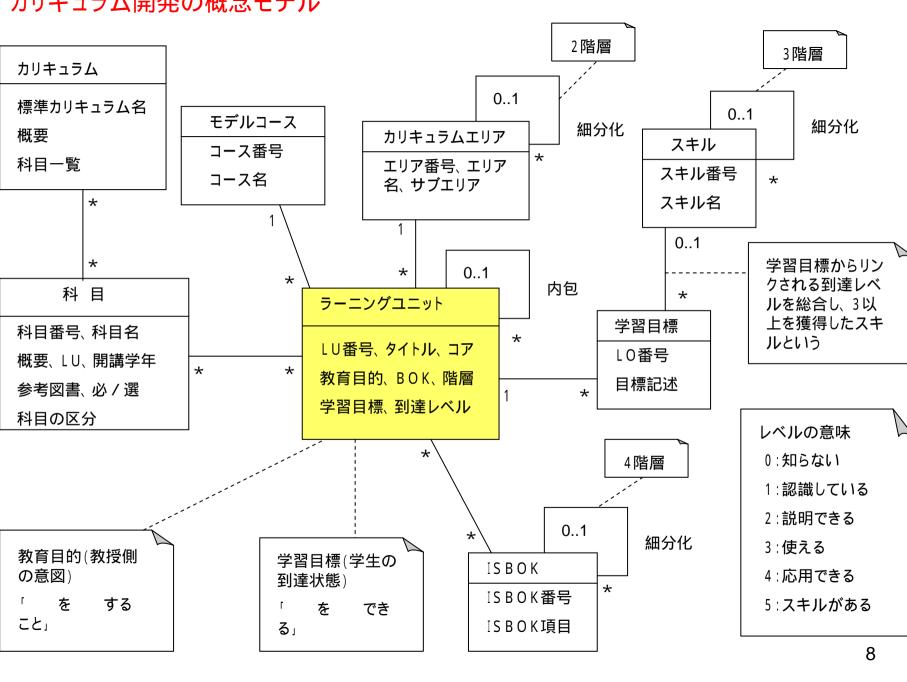
- 第1階層(3つの枠組)
  - 情報技術,組織と管理概念,システムの理論と開発
- 第2階層(専門分野の基本的な項目)
  - 他の4領域における枠組に相当
- 第3階層(第2階層の細分化)
  - 専門知識の項目
- 第4階層(詳細項目)
  - 具体的な方法例、キーワードなど
- 三種類の表を提供
  - 第3階層まで展開(公開)
  - 第4階層までの簡易版(付録1参照)
  - 重要度や他領域との関係を示した第4階層までの詳細版(公開)

# ラーニングユニットの導入

- ガニエのインストラクショナルデザインの原理に基づいた概念
- 自主的な学習者に知識を伝えるために設計された、システムの構成要素
- 学習コースを記述するために用いられている要素であり、教育プログラムに組み込まれる重要なユニット
- 教育目的と関係するBOK、学習目標と評価のレベル(何が どこまでできるようになるか)を明確にしたもの
- 適切なLUがない場合には、新たに作成してLUリストに追加 - LUの粒度はさまざま
- LUとスキルを参照して関連項目を選択し、科目を構成する

# モデルコースの仕様

- コース#(例:J07-IS00(2)),コース名(例:情 報システム技術を使った個人の生産性)
- コースの概要(カタログ)
- コースの意図(スコープ)
- コースの主な項目(トピックス)
- コースの指導要領
- 関係するラーニングユニットのリスト
  - LU# , 教育目的 , 対応するISBOKの要素 , 学習 目標



# スキル(Skills)の考え方

- 現実フィールドの仕事に必要なレベルの能力に注 目する
- 情報システム開発の各フェーズで必要な技術に注 目する
- 知識の理解に留まらず,どのような能力が求められるかに注目している
- 学習目標のレベル3以上を対象として列挙している
  - 知識の理解に必要な技能,リテラシレベルは取り上げない
  - スキルセット, サブスキル, 対応する仕事上の項目(用語)

# 科目の編成(詳細)

- 記述内容
  - 科目ID,科目名,開講学年,単位,必/選の別,科目区分
  - 科目の目標
  - 科目の内容(キーワード)
  - 参考図書
  - 参照するラーニングユニットの列挙(LU#,タイトル,レベルと学年,カリキュラムエリア)
- LU一覧とスキルを参照して関連するLUを選択する
  - 適切なLUが存在しない場合には,新たに作成してLUリストに追加する
  - LUの粒度はさまざま,大きなLUには小さなLUが含まれることがある
- 科目はLUで編成される

### 5つのモデルカリキュラム

- ISの対象分野のモデルとして
  - STANDARD(情報システム標準カリキュラム)
    - 情報システム全般の知識について学ぶ一般的なカリキュラム
  - MIS(経営情報システム標準カリキュラム)
    - 経営管理とISに注目したカリキュラム
  - NETWORK(ネットワーク情報システム標準カリキュラム)
    - ネットワークとeビジネスに注目し特化したカリキュラム
  - EDUCATION(教育情報システム標準カリキュラム)
    - 情報システムの視点から教育に注目したカリキュラム
  - HIGHLEVEL(高度情報システム標準カリキュラム)
    - システム開発を重視したカリキュラム

# カリキュラム (科目差し替え可能性)

カリキュラム名	設定した 単位数	必修 単位数	教養·選択等 余裕科目数
STANDARD	9 2	6 6	2 9
MIS	1 2 8	7 6	2 4
NETWORK	9 2	6 8	2 8
EDUCATION	1 0 3	5 2	3 6
HIGHLEVEL	1 1 6	4 8	3 8

# カリキュラムの構成

科目一覧に表示する内容(本文に掲載)

科目ID,科目名

開講学年,単位数,必修/選択の別,専門/専門基礎/教養の区分

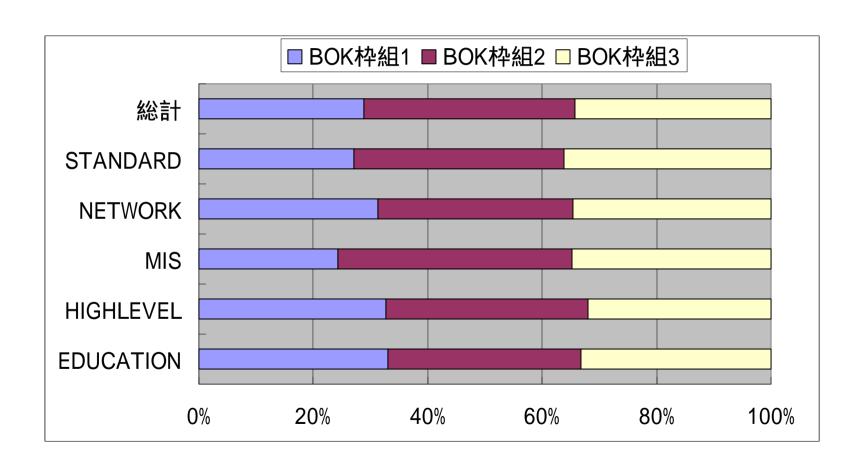
科目の目標

· 科目構成で配慮したこと

コアとなるLUは、必修科目のどれかに含まれている 教養科目は各大学が適宜設定する

ISとして重要な科目であっても,同内容の教養科目で置き 換え可能なものは選択科目としている

# モデルカリキュラムの評価と ISBOKの関係



#### 提供する成果物

http://open.shonan.bunkyo.ac.jp/~miyagawa/is/isecom/material/j07-is/

- ISBOK(全13頁), LU(全25頁), スキル(全3頁)
- コースの仕様(全51頁)
  - コース記号,コース名,カタログ,スコープ,トピックス,教え方と期待すること
  - LUリスト: LU#, 教育目的, BOKレベル, BOK内容, 学習目標
- モデルカリキュラム(全66頁)
  - 科目番号,科目名,目標,LU#,LUのタイトル,サブスキル,学年,単位,科目区分(専門,専門基礎,教養,必修/選択など)
- スキルに対応するLU(全3頁)
  - スキルセット,スキル,サブスキル,LU#,LUのタイトル
- スキルに対応する教育目的(全4頁)
  - スキルセット, スキル, サブスキル, LU#, 教育目的
- カリキュラムエリアに対応するLU(全4頁)
  - カリキュラムエリア , サブエリア , レベル , コース # , LU # , LUのタイトル
- コースに対応するLU(全6頁)
  - コース名,カリキュラムエリア,サブエリア,LU#,レベル,LUのタイトル

# IS教育カリキュラム策定にかかわってきたメンバー

委員長:神沼靖子

幹事: 宮川裕之

委員:渡邊慶和,竹並輝之,児玉公信

:松永賢次(広報担当),吉永努

:田名部元成,福村好美,松澤芳昭

: 繁野高仁, 市川照久, 都倉信樹

(順不同)